

レジメン名

KRd

出典 カイプロリス適正使用ガイド2021年11月作成

実施部署区分

 入院
 外来
 処置

対象疾患

多発性骨髄腫

 進行・再発
 補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

レブラミド
 PLTが3万/mm³未満の時、回復後15mg/日で再開
 CLorが60mL/min未満の時、10mg/日 連日投与
 CLorが30mL/min未満の時、15mg/日 隔日投与
 透析患者では、5mg/日 連日投与

カイプロリス
 中止後再開した場合、下記を目安に減量を考慮する事
 27mg/m²→20mg/m²→15mg/m²

投与中止の基準

ANG	1000/mm ³ 未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満
Hb	6.5g/dL未満		
その他			

1クール期間 28日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
1コース目				
カルフィルゾミブ(カイプロリス)	20mg/m ²	5%糖液適量※	10min	d1.2
カルフィルゾミブ(カイプロリス)	27mg/m ²	5%糖液適量※	10min	d8.9.15.16
デキサメタゾン(レナデックス)	40mg/body	経口		d1.8.15.22
レナリドミド(レブラミド)	25mg/body	経口		day1-21
2~12コース目				
カルフィルゾミブ(カイプロリス)	27mg/m ²	5%糖液適量※	10min	d1.2.8.9.15.16
デキサメタゾン(レナデックス)	40mg/body	経口		d1.8.15.22
レナリドミド(レブラミド)	25mg/body	経口		day1-21
13コース目以降				
カルフィルゾミブ(カイプロリス)	27mg/m ²	5%糖液適量※	10min	d1.2.15.16
デキサメタゾン(レナデックス)	40mg/body	経口		d1.8.15.22
レナリドミド(レブラミド)	25mg/body	経口		day1-21

※2 調製時、CSTD(ケモセーフロック®/バイアルアダプター)使用により白色浮遊物発生。シリコンオイルとカルフィルゾミブの複合体であればインラインフィルター使用で除去されるが、コアリング等との判別が困難であるため、2022/2/17より調製時にはCSTD使用不可とした。また、投与時インラインフィルター不要とした。

1日投与順 (経時的にプレドニゾン・ボストメドニゾン、溶)
1コース目
d1, 2
①生食50mL (ルート確保)
②カイプロリス20mg/m ² +注射用水5mL/10mg+5%糖液適量(最終投与液が50mLになるように希釈)※(10min)
③生食50mL (フラッシュ用)
d8, 9, 15, 16
①生食50mL (ルート確保)
②カイプロリス27mg/m ² +注射用水5mL/10mg+5%糖液適量(最終投与液が50mLになるように希釈)※(10min)
③生食50mL (フラッシュ用)
2~12コース目
d1, 2, 8, 9, 15, 16
①生食50mL (ルート確保)
②カイプロリス27mg/m ² +注射用水5mL/10mg+5%糖液適量(最終投与液が50mLになるように希釈)※(10min)
③生食50mL (フラッシュ用)
13コース目以降
d1, 2, 15, 16
①生食50mL (ルート確保)
②カイプロリス27mg/m ² +注射用水5mL/10mg+5%糖液適量(最終投与液が50mLになるように希釈)※(10min)
③生食50mL (フラッシュ用)
<内服>
レブラミドは眼前に内服
day1.8.15.22のレナデックスは分1-2で昼までに内服
day2.9.16はレナデックス4mgもしくはデキササート3.3mgをカイプロリス投与前に投与すること